



10
「辛」

十 ★ 辛

辛いものは好きだろうか。僕は好きではない。食べられないことはないのだが、食事に刺激を求めているないため、優しい味付けのものを好む。カレーライスも甘口でいいし、これは変人に片足を突っ込んでも思うが、サラダに何もかけなくたって大丈夫。

そんな味覚に、このところ変化が起きている。自分でも不思議なくらい、口が辛さを求めている。何を隠そう、今までにない勢いでキムチを食しているのだ。

最近のお気に入りの食事は、お茶碗に白いごはん、野菜の味噌汁、そしてキムチ。日韓コラボレーションだ。バリエーションとして、納豆や豆腐が足されることもある。これまた日韓コラボ。豆腐は中国だから日中韓か。とにかく朝でも夜でもこれでいける。

先日、夜ごはんが遅くなった。疲れてるし簡単に何か食べよう。ごはんは炊いたものが残ってるし、味噌汁はインスタントで構わないと判断。仕上げて冷蔵庫を開けると、そこにキムチが……ない！

通常なら「ま、いつか」案件だが、取り憑かれている僕はそこから再び上着を羽織り近くの店へ。赤いパッケージを手にし、ようやく晩ごはんにたどり着いた。

こんな調子なので、この2週間ほどで何種類かのキムチを食べた。これまで気にもとめていなかったが、一口に『キムチ』といっても味付けはさまざま。本来の僕向けと

もいえる、和風キムチとか、辛くない点を売りにしてる商品も多いのだが、とにかく今は辛いものがいい。

突如として巻き起こったこの『辛ブーム』、果たしていつまで続くのか？

刺激はほどほどにしておかないと、身体が慣れてしまいエスカレートしがちだ。どんなことにも、やっぱりバランスがある。

僕はコーヒーが好きなのだが、最近はおっぱらノンカフェインのものを飲んでいる。これで釣り合いが取れているかは不明だが、こうでもしておかないと刺激物の取り過ぎで体質や性格にいたるまで、なんらかの影響が出るかもしれないと危惧しているからだ。

余計な心配かもしれないが、人生って、案外そういうバランスの上に成り立ってるのかもなと思うのである。

キムチとノンカフェイン。つながりがあるようには見えない両者だが、こうして今日も僕なりに、舌と身体のバランスをとっている。